



教育レポート

# 探究する力で未来を創る

今、小中学校では、自ら問いを立て、考え、表現する「探究学習」が広がっています。市立中学校の生徒が集まり初めて開催した探究学習発表会「中学校探究チャレンジ・アクション」の取り組みもその一つです。

身近な気付きから広がる学びの中で、子どもたちが未来を切り開こうとする姿をご紹介します。

問合せ 教育指導課 / Tel.674-7631 ID 167725



## 探究学習って何？

探究学習とは、先生が教科書に沿って知識を教える授業ではなく、身近な「なぜ？」から子ども自らが課題を見つけ、各教科で学んだことを生かしながら考えを深めていく学習のこと。

「何を学んだか」ということ以上に、「学ぶプロセス」や「活動の意義」を考えることで、自分自身と向き合う力や社会に参画する力などの「生きる力」を養います。

### あなたの「なぜ？」も探究の始まり

「街路樹はなぜ植えられているの？」  
「深呼吸すると気持ちが落ち着くのはどうして？」  
「行列の絶えない人気店が突然閉店。なぜ？」

そんな小さな疑問も、調べて、考え、話し合えば、それは立派な探究です。  
子どもたちも、そんな「なぜ？」から学びを深めています。

## 探究学習はどうやって進める？

探究学習は、総合的な学習の時間や各教科の授業で年間を通じて行っています。課題の解決には何が必要か、子どもたちが調べて、考えて、話し合うことを繰り返します。また、大人が積極的に関わることで子どもたちの探究する力が高まります。

大人の参加が探究学習を深める決め手



### ① 課題の設定（問いを立てる）

地域の笑顔を増やすにはどうしたらいいだろう。みんなが幸せな学校ってどんな学校だろう。地域に暮らす人や地元の企業から聞き取りをするなどして、問いを立てます。



地域で困っていることありますか？

公民館で地域の人に聞き取り

### ② 情報の収集（調べる）

本やインターネットで調べることはもちろん、学校の外にも出かけて情報を集めます。どこに行けばどんな情報が得られるのか、自分たちで考え、良い情報が得られるよう行動します。



まずはインターネットで調べてみよう

ジャンボタニシの卵がこんなところに



### 探究学習4サイクル

### ④ 表現（伝える）

考えてきたことをまとめ、発表します。発表を聞いた人や仲間から意見をもらうことで、新たな問いが生まれることも。探究学習は発表して終わりではありません。



お年寄りと子どもが交流できる場所を考えました

授業参観で質問をする見学者



外来種の天敵ってどんな生き物だろうな

### ③ 整理・分析（考える）

集めてきた情報をタブレット端末などを使って仲間と共有しながら解決策を考えます。情報が足りなければ、また調べる。課題そのものが良くなければ考え直す。繰り返すことで学びが深まります。



地域の人も参加できるイベントはどうかな

集めた情報から何が分かるだろう

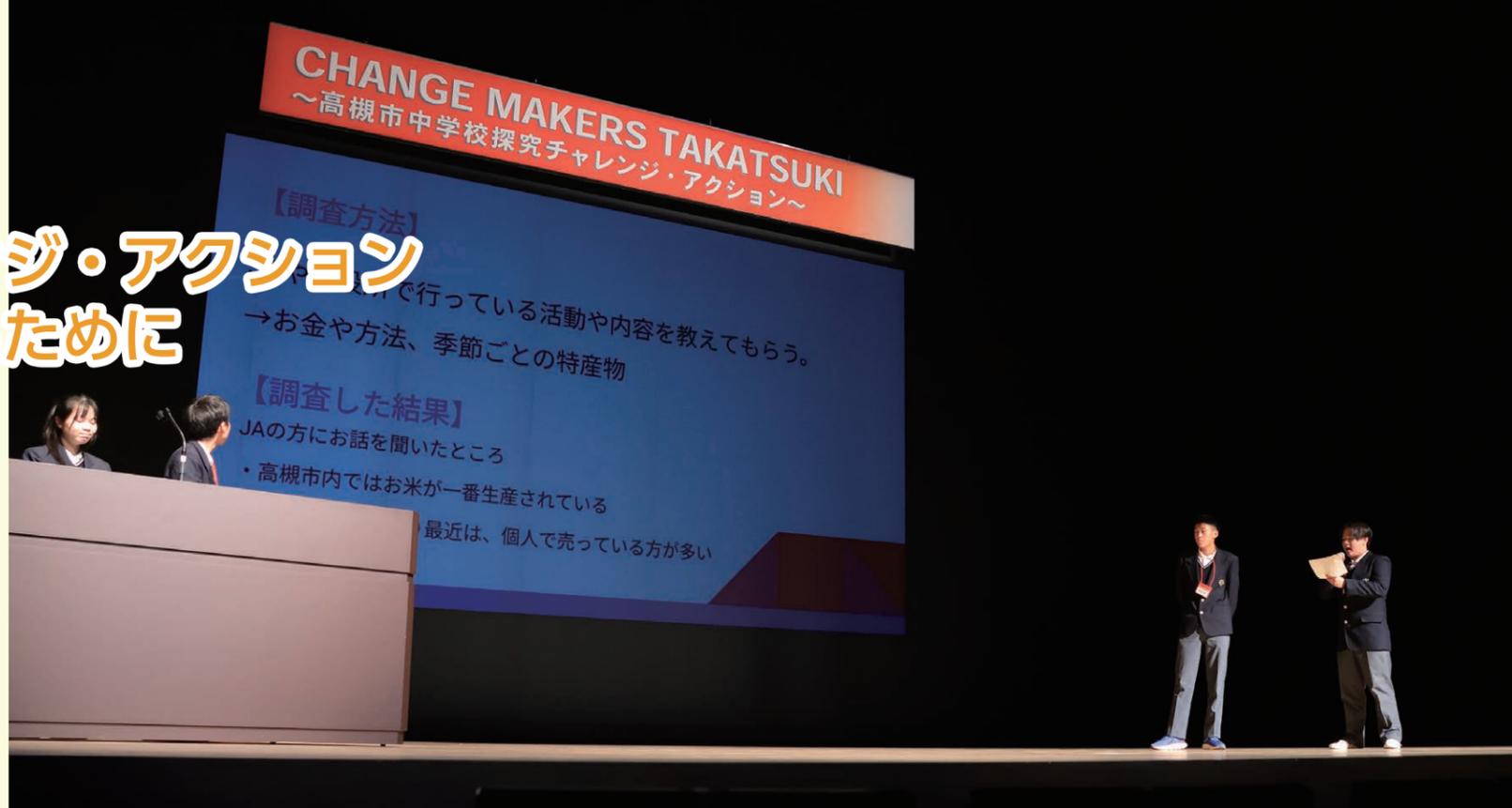
▶ 次ページでは、中学校探究チャレンジ・アクションをレポート

初開催

# 中学校探究チャレンジ・アクション より良い社会を創るために

昨年11/30に中学校探究チャレンジ・アクション (CHANGE MAKERS TAKATSUKI) を芸術文化劇場南館トリシマホールで初開催。市内の中学生が集まり、各校で実践している探究学習の発表を行いました。

「自分たちがより良い社会を創る」をテーマに、生徒たち自身のアイデアを披露しました。



自分たちが暮らす地域をより良くするために何が必要でどうすれば良いか、生徒たちが真剣に考え、調べ、まとめました。昔遊びを通じた多世代交流や地域のみんなが気軽に集えるカレー店、地域の安全安心の取り組みなど10グループが発表。大人にはない中学生ならではの発想に学習の成果が表れていました。



どうすれば、自分たちの考えが分かりやすく伝えられるか。生徒たちは、考え、自由な発想で、舞台全体を自由に使って表現しました。舞台から降りて客席や審査員席で直接訴えるグループも現れ、会場は大いに盛り上がりました。



生徒たちの発表が終わると、質疑応答に。審査員の大学教授や中小企業診断士、教育委員などからさまざまな角度の質問が飛びました。

答える中で生徒たちは「追加の調査が必要ではないか」「他の視点で考える必要はないか」など気づきがあり、新たな探究の始まりになりました。



## 最優秀賞の生徒に聞きました

<探究テーマ> 市営バスの路線変更



第九中学校3年  
ロング美咲さん

Q テーマを選んだきっかけは?

A 「なぜ、こんな狭い道にバスが走っているんだろう？」私が塾に行くときに通る道が狭く「大きな車が通ると危ない」と感じるがありました。より安全な地域にするために、私ができることは何かないかと考え探究をスタートしました。

Q どんな調査をした?

A 代替路線の現地調査はもちろん行いましたし、路線を変えるためにはそこに暮らす人の思いが大切だと考え、公民館に行き地域に住む人約50人から意見をもらいました。調査は大変でしたが、「変えないで欲しい」という声も出て、人それぞれさまざまな思いがあることが分かり、考えが深まりました。

Q 発表して気付いたことは?

A 発表では、審査員に「今のままで良いという反対意見とどう調整するか」と聞かれ、調整方法まであまり考えられていなかったことに気付かされました。



今後は、現在のバス路線になった経緯や背景を聞きに行ったり、自分と異なる考えの人からもたくさん意見を聞いたりして、実現に向けて、どんどん探究を進めていきたいと思っています。

## 審査員に聞きました



関西大学文学部  
教授 岩崎保之さん  
教育学・教科教育学が専門。生活科や総合的な学習の時間を中心に研究を進め、探究発表会では審査員を務める

## 主体的なフィールドワークが印象的

当日の発表は、生活に根差した課題や地域の現状を真剣に受け止め、現地調査やインタビュー、データ収集を大切にしました。

商店街の店主への聞き取りや地域産業の分析から構想したレストラン企画など、生徒たちの主体的なフィールドワークが特に印象に残りました。

## 質疑応答から学びの深さを実感

質疑応答では、生徒の視点では気づきにくいことを尋ねましたが、その場で自分の考えを一生懸命に伝えようとする応答力の高さに、探究学習に取り組む真剣さが伝わってきました。本気で取り組んだからこそ、大人の指摘にも機転を利かせてうまく対応できていたと思います。

## 変化の時代に必要な力を身に付ける

探究は「正解を教わる学習」の枠を超えて「正解が決まっていない問い」に対して、正しいと思える答えを導き出す営み」だと言えます。

今は、変化の激しい時代です。誰かに与えられた課題をこなすだけでなく、新たな価値を創造するイノベーターの資質が必要とされています。

探究学習では、課題を自分事として捉え、仲間と知恵を出し合いながら人生を切り開いていく力、言い換えれば「生きる力(知・徳・体)」そのものが身に付きます。



## 探究学習が地域を刺激する

子どもたちは、地域課題に対して新鮮な観点を持っていて、大人が見落としがちな問題に気付くことがあります。また、先入観にとらわれない発想や柔軟な対応力、行動に移すスピードは、地域を刺激し、時に大人の行動を促す力を持っています。

子どもたちの探究が地域社会に「問い」を投げ掛け、地域全体の学びを広げていくことが期待できます。

## 探究する大人の姿 未来を描くロールモデルに

子どもたちは大人の姿から多くを学びます。大人が日々の生活で感じるモヤモヤを言葉にし、原因を考え、仲間と協力して一生懸命に生きている姿はまさに「探究」そのものです。

子どもたちには、そんな大人の探究する姿をロールモデルにして、より良い未来を創造する力を伸ばして欲しいと思います。